

学校だより

第15号

令和7年度

いつも心にあいうえお

令和 7年 8月25日（月）

発行：那覇尚学院高等専修学校

文責：校長 初鹿野 修

〇〇 親と教師にとって、すごく大切なこと 〇〇

ロン・クラーク 松本剛史 訳 草思社

みだしのフレーズは、アメリカのロン・クラークという教師が、一年間アメリカを旅してまわり、おおぜいの先生やこどもの保護者と話をする中で、それらの人々に共通すると思われることをまとめた本のタイトルです。その本にまとめられた11の項目を書き出します。

1. 熱意

- ①熱意は周りに伝染する
- ②目標があるときの熱意は、最高の力を発揮する
- ③生徒の熱意を引き出す環境をつくろう
- ④熱意は必ず生徒に届く

2. 冒険

- ①大人も冒険の感覚を思い出そう
- ②共に冒険すれば強い絆ができる
- ③冒険は期待を育み、進歩を促す
- ④授業にも冒険の刺激を

3. 創意

- ①創意は人を活気づける
- ②テストの成績を創意工夫で上げる
- ③創意は、チャンス逃がさない
- ④創意は、敬意に通じる

4. 反省

- ①反省をもとに成功の思い出つくり
- ②向上するには反省が不可欠
- ③反省を記録すれば宝物になる
- ④1年の反省を形に残そう

5. バランス

- ①さまざまな学習スタイルでバランスをとる
- ②規律と愛情の正しいバランスを見つける
- ③生活と教えることのバランスをとる
- ④全体と部分のバランスをとる

どれが一番で優れた教師を言い表すかとすれば「情熱」ほどふさわしい言葉はない。

情熱は、教師の教師たるゆえんであり、親が子育てに生活をささげる理由だ。

それは、心の内にある燃える炎であり、世界を変えようという秘めたる決意である。

P250

※本校の職員は、一人一人が内に秘めたる思いをしっかりと持ち、生徒と保護者と向き合っています。

あと、6つあります。次号に続きます。

国際交流出前授業：7/19



オーストラリアのウートン先生

博物館・美術館見学：8/1



1年は博物館・2年は美術館

高2の理科のスクーリング：8/6



沖尚高校での実験の授業